

■刀剣商組合「明美ちゃん基金」に寄付

全国刀剣商業協同組合の深海信彦理事長らが東京・大手町の産経新聞社を訪れ、難病に苦しむ子供のための「明美ちゃん基金」(産経新聞社提唱)に25万円を寄付しました。...



「産経新聞」平成23年12月22日

写真右から土肥副理事長・猿田副理事長・産経新聞社関田事業局長

今年は平成と改元されて二十四年目を迎えます。私たちの組合は、昭和六十二年九月に国の認可を受け、翌六十三年度より本格的な活動を開始して今年度で二十五年目となります。...

さらなる一歩を

理事長 深海 信彦

NEWS, TOPICS, INFORMATION, OPINION & EDITORIAL



天変地異のもたらす景気の動向に大きく左右されながらも、組織としての形態を保ち、組合員数を維持し、諸事業を継続して今日に及ぶことができたのは、創立以来の多くの組合員の努力と英知の賜物でもあります。...

三十八%となっております。交換会における手数料収入は組合の一般管理費を賄い、さらには組合員に必要なモノや情報を購入、収集する原資となります。...

組合の歴史の中で、国の正式認可を受けたことは特筆されませんが、その後は、平成三年「やさしいかな」編集・発行に当たり警察庁監修を取り付けたこと、平成八年に現在使用している組合員証・行商従業者証と営業所標識(ネームプレート)に...

このようなごの実現こそ、組合員としての直接の特典であり、組合加入の意味も理解されるものと考えられます。新しい年を迎えて、これからもますますできることから一歩一歩、地道で根強い努力を積み重ね、国家認可の組合としての利点を活用していくことで組合の発展も図られるというものです。...

扶助、普及啓蒙等はいくら唱えても、個々の組合員の直接利益には結びつかないというのが大方の実感でもありません。組合の行っている毎月の交換会には昨年度は平均六十四名の参加があり、大刀剣市には七十五名が出店し、全組合員に対する比率はそれぞれ約三十三%と

うか。運営を預かる執行部としては、この点に今後最も重点を置かなければなりません。今まで行ってきた多くの事業は、任意団体でも行い得るものであり、協同組合法に則った義務のみを忠実に果たし、国家認可組合のみが成し得る肝心の権利の行使には消極的であったきらいもあります。...

組合の歴史の中で、国の正式認可を受けたことは特筆されませんが、その後は、平成三年「やさしいかな」編集・発行に当たり警察庁監修を取り付けたこと、平成八年に現在使用している組合員証・行商従業者証と営業所標識(ネームプレート)に...

このようなごの実現こそ、組合員としての直接の特典であり、組合加入の意味も理解されるものと考えられます。新しい年を迎えて、これからもますますできることから一歩一歩、地道で根強い努力を積み重ね、国家認可の組合としての利点を活用していくことで組合の発展も図られるというものです。...

2012.1.15 VOL.3
発行人 深海 信彦
発行所 全国刀剣商業協同組合
〒169-0072 東京都新宿区大久保2-18-10
新宿スカイプラザ1302
TEL:03(3205)0601 FAX:03(3205)0089
http://www.zentsho.com

て直接至便に感じることに関係省庁に申し入れ、実現を図っていくことが望まれるところでありましょう。
組合員からの要望は多岐多様にわたり、すべてに着手する時間はありませんが、最近寄せられた要望から一例を挙げますと、飛行機を利用する際に刀剣類の登録証の提示を求められ、不慣れた警察官の場合には時間を費やし出発時間にまで影響を及ぼす、というものです。...

美術刀剣・刀装小道具商 やしま 齋藤雅徳・隆久・隆洋
刀装小道具通信販売目録 「やしま」 年間10回発行予定 購読料10回 2,000円 (郵便切手可)
刀剣・刀装小道具高価買入 〒202-0022 西東京市柳沢6-8-10 TEL 042-463-5310 FAX 042-463-7955

柳匠堂 柳村宗寿
金工・刀身彫刻・修理・諸工作一式
〒700-00827 岡山市北区平和町二一八
電話(0)八六二二二二二二九
工場 〒700-00826 岡山市北区磨屋町七二二一
電話・FAX(0)八六二二二二二二九

代表 網取譲一
甲冑 刀剣 刀装具 古美術一般
福隆美術工芸
〒104-0061 東京都中央区銀座二一四
TEL/FAX 03-3554-1820

町田久雄
三峯美術店
刀剣古美術
〒166-0001 埼玉県秩父市野坂町一六二
西武秩父駅連絡通路町久ビル内
TEL/FAX 0494-1333067

大阪刀剣会 吉井唯夫
美術刀剣、小道具、武具類の 売買、加工及び御相談承ります
大阪府中央区日本橋二丁目七番一號
電話 06(6631)2210 番
FAX 06(6644)5464 番

特集

大刀剣市2011



たくさんのご来場者さま
ご出店ご協力の組合員各位
ありがとうございました

今回で二十四回目を迎える大刀剣市は、十月二十八・三十日の三日間、東京新橋の東京美術倶楽部で開催されました。三月十一日、いまだに信じられぬ東日本大震災が発生し、当組合員の中にも多大な被害を受けられた方々がおり、この困難の時期、いろいろなイベントが自粛されているさなかに、今年の大刀剣市は開催できるのだろうかと心配しておりました。しかし、組合員の多数の方が

開催を望まれ、また全刀商の重要な事業の一つでもある慈善活動を、今回は産経新聞社の「明美ちゃん基金」とは別に義援金を募る場としようと、深海理事長を先頭に多数の声が上がりました。「東日本大震災復興支援チャリティーオークション」を盛り込んだ大変意義のある大刀剣市となりました。経済状況も決して良いとは言えない中、総組合員数百九十五のうち七十五の出店があり、美

術倶楽部三・四階はヒッシリと埋め尽くされました。各店とも個性豊かに自慢の商品を陳列するなど、誰もが世界一の刀剣シヨと認める華やかさです。海外にも広く認知されて、外国人ディーラー、コレクターの来場が増えているのも、ここ数年の傾向です。大刀剣市開催時のレートは一ドル七十六円と超円高であったため、心配しておりましたが、海外からの新しいお客さまも増えて、まずは一安心でした。サムライ・アートへの関心の高さがうかがえます。このように、毎年盛大に開催できるのも、初回より変わらぬ後援をいただいている産経新聞社、フジサンケイビジネスアイ両社、また協賛をいただいている全日本刀匠会等、関係各位のご支援のたまものと、心より感謝申し上げます。前回のチャリティーオークシ

ヨンは三宅島の噴火災害の折、平成十二年の第十三回でしたが、そのとき以上に多くの組合員の皆さまからオークション品を無償で提供していただきました。結果は、そのすべてが落札され、全額を復興義援金とさせていただきます。オークションには一般のお客さまが多数参加され、かつ限られた時間内でスムーズに進行できるように、担当組合員は何度も打ち合わせをし会場を設営した結果、予測していた時間よりも早く終了できました。三階重文室での特別企画展は「江戸の時代を生きた名工達」と銘打ち、徳川二代将軍の正室お江の方の波乱に富んだ生涯と同時代を生きた名工の刀剣を中心に陳列しました。これらはすべて、担当組合員のボランティアで完遂できたものです。皆さま、本当にご苦労

さまでした。現在、防犯上の理由もあって、入場料二千円(カタログ付き)をいただいておりますが、三日間の来場者数約三千人は従来と変わらず、経済状況の厳しい中にあっても大刀剣市が健闘していることがわかります。また、事故などのトラブルも一切ありませんでした。お客さまに楽しんでいただけるよう、出店者の皆さまそれぞれに魅力ある商品の取りそろえと展示に創意工夫を重ねてきました。こうした努力が全体の一体感を醸し出し、また相互の信頼の深まりが次の大刀剣市開催へとつながっていくのだと思います。本年も、より多くの出店者が集い、会場を埋め尽くすお客さまをお迎えできますよう、皆さまのご協力をお願いします。(嶋田伸夫)

東日本大震災復興支援チャリティーオークションの報告

皆さまのご協力のおかげで、東日本大震災復興支援チャリティーオークションでは予想を上回る寄付が集まりました。出品者の皆さま、落札者の皆さま、ありがとうございました。

（出）一時より四階特設会場にてオークションは始まりました。会場は満席となり通路までお客さまがあふれていました。オークシヨニアは深海理事長自らが務めました。

同時発声により数人でのジャンケンでの落札者決定や、お客さまと業者による熾烈な競り合い、海外からのお客さまによる落札、大阪から参加したS氏の「触ったから自動的に落札」などもあって、一時間ほどのオークションでしたが、大いに盛り

上がりました。中には、オークションだから高額まで上がるだろうと思っていた方もいたようですが、そんなことはなく手ごろな価格で落札されていきました。オークションには四十二店舗から九十五点が無償で寄せられました。総額は三百三十六万八千円に達しました。組合ではその全額を復興支援に使わせていただきます。

貴重な商品をご提供いただいた皆さま、オークションをご利用

オークション品の実物が事前確認できるよう、初日から二日目の午前中まで四階にオークション品展示ブースを設けました。その一角は商品を見たいお客さまで常に混雑しており、関心の高さがうかがえました。大刀剣市中日の十月二十九日

貴重な商品をご提供いただいた皆さま、オークションをご利用

貴重な商品をご提供いただいた皆さま、オークションをご利用

ドキュメント ● チャリティーオークション
平成23年6月23日 東日本大震災義援金配分案特別審議委員会にてチャリティーオークション開催案が起草される
7月17日 チャリティーオークションの実行を決定
8月23日 理事会にて寄付額について審議。売上の一定割合、また差益を寄付するなど意見百出するも、全額の寄付を決議
同日 高橋正法氏をオークション実行委員に指名。各理事が組合員に出品寄贈を呼びかける
9月17日 チャリティーオークション出品寄贈品の受付始まる。以降、交換会会場の預かり、担当委員への直接手渡し、組合事務所への送付など組合員の善意が続々集まる。刀剣・刀装具・甲冑・刀掛・古式銃・書籍などの総数95点。すべて寄付ということで、どれほど集まるかとの心配も杞憂に終わる
10月18日 出品寄贈品をすべて組合事務所に集め、リスト作成(高

大震災義援金 400万円寄付

刀剣、かぶとなど約100点出品

東日本大震災復興チャリティーオークション
2011年10月29日(土) 全国刀剣商業協同組合

「大刀剣市」とは、全国各地から75店舗の刀剣商が一堂に会する、刀剣・刀装具・甲冑・武具の大展覧会のこと。広く一般のこれらに對する関心を高め、優れた文化遺産であると認識してもらう「新たな愛好者の開拓」「社会貢献」などを開催意義として、毎年10月に開催している恒例イベントだ。

今年も「江戸その時代を生きた名工運」と題した特別企画展をはじめ、おなじみの「我が家のお宝鑑定」や現代刀匠による銘切りの実演なども行われた。

中でも盛り上がったのは、震災復興を願って開催された「東日本大震災復興支援金チャリティーオークション」。約1000点の刀剣、かぶと、刀装具、関係書籍などが各店舗の善意で出品され、人氣が集中した品には落札値に歓声と同時にため息がもれた。

販売人を務めた同組合の深海理事長(写真左)は、「参加者の温かい支援のおかげで大変盛り上がりました」と話し、引き続き復興活動を続けていく方針を明らかにした。

同組合は平成12年にも「三宅島噴火義援金チャリティーオークション」を行い、そのときには約200万円を東京都知事に届けている。今年の震災に対しても発生直後から定期的に義援金を送っていて、今回の落札金約400万円も日本赤十字社などを通して全額被災地に寄付するとしている。

参加者の支援に感謝

販売人を務めた同組合の深海理事長(写真左)は、「参加者の温かい支援のおかげで大変盛り上がりました」と話し、引き続き復興活動を続けていく方針を明らかにした。

同組合は平成12年にも「三宅島噴火義援金チャリティーオークション」を行い、そのときには約200万円を東京都知事に届けている。今年の震災に対しても発生直後から定期的に義援金を送っていて、今回の落札金約400万円も日本赤十字社などを通して全額被災地に寄付するとしている。

①会場の東京美術倶楽部入り口 ②銘切り実演コーナー ③重文室の特別企画展 ④⑤オークション会場 ⑥『東京スポーツ』11月18日



用いたいただいた皆さま、オークションを盛り上げてくださった皆さま、設営準備などに尽力された皆さまに御礼申し上げます。ありがとうございました。

また商品の管理・展示・配送の手配をしてくださった大林幹夫様・小林君夫様、お疲れさまでした。

皆さまの温かい気持ちに感謝し、その思いが被災地に届くよう願っております。(高橋正法)

チャリティーオークション出品一覧

| 寄贈者 | 種別 | 銘 その他 | 画題 その他 |
|---------------|-------------|--------------------------|--------------------------|
| 盛光堂(齋藤) | 鐺 | 無銘 尾張 | 芦に權透図【保存】 |
| 干将庵(楳崎) | 笄 | 無銘 | 群鶏図鉄笄 |
| 刀剣古美術飯塚(飯塚) | 鐺1 | 無銘 長州 | 葵沢瀧雁金透図【保存】 |
| | 鐺2 | 銘 紀州貞命 | 輪違い透図【保存】 |
| | 鐺3 | 無銘 明珍 | 引込木瓜形鉄素文【保存】 |
| | 鐺4 | 無銘 平安城象嵌 | 蛇籠図【保存】 |
| | 鐺5 | 無銘 秋田正阿弥 | 竹節蕨手透【保存】 |
| 日本刀剣(伊波) | 書籍1 | 福士繁雄 著 | 刀装具町彫名品聚成 |
| やしま(齋藤) | 小柄 | 銘 明治紀元戊辰歳安達真早 | 官女の図【光村龍師堂旧蔵品】 |
| 優古堂(三浦) | 縁頭 | 無銘 | 鬼灯図 真砂象嵌 |
| 勝武堂(大平) | 拵1 | 脇指拵 | 獅子図縁頭 水鳥目貫(小柄欠) |
| | 拵2 | 脇指拵 | 秋草図鐺 立田川図笄 二疋獅子図小柄 龍図目貫 |
| 日宝(田澤) | 鐺1 | 無銘 鉄鐺 | 角丸形 山水図 |
| | 鐺2 | 無銘 鉄鐺 | 十字木瓜形 |
| | 鐺3 | 無銘 素銅鐺 | |
| 真玄堂(高橋) | 書籍1 | 福士繁雄 著 | 刀装具御家彫名品聚成 |
| | 書籍2 | 福士繁雄 著 | 刀装具町彫名品聚成 |
| 永和堂(朝倉) | 短刀 | 銘 室生住隆平造 昭和甲子年夏 | 長 21.5cm 目釘孔1 昭和59年 |
| 大西刀剣美術(大西孝男) | 小柄 | 無銘 | 牡丹獅子図 |
| 甲冑堂ひたちや(長) | 兜 | 十二間筋兜 | 前立・兜台【現金10万円】 |
| 阿雲亭(笹原) | 鐺 | 銘 桂盛行 | |
| 新堀美術刀剣(新堀) | 瓢箪1 | | |
| | 瓢箪2 | | |
| | 瓢箪3 | | |
| | 瓢箪4 | | |
| 刀剣大林(大林) | 太刀掛 | 葵紋 | |
| つるぎの屋(眞賀) | 二所物 | 縁頭目貫 銘 加藤高堅作 | 兎図【刀剣保存会鑑定書】 |
| 美術刀剣広輝(玉井) | 書籍1 | | |
| | 書籍2 | | |
| | 書籍3 | 大塚巧藝社 刊 | 日本刀大鑑 全巻揃い |
| | 書籍4 | | |
| | 書籍5 | | |
| 美術刀剣広輝(玉井) | 書籍6 | 大塚巧藝社 刊 | 日本刀大鑑 全巻揃い |
| 銀座長州屋(深海) | 書籍7 | 田野辺道宏 著 | 名品刀絵図聚成 |
| | 小刀穂 | 銘 於備前国義光作之 | |
| | 目貫 | 無銘 程乘 | 一疋獅子図【特賞】 |
| | 小柄 | 銘 後藤光孝(花押) | 稲穂紋【特保】 |
| | 小柄 | 銘 宗峯(金印) | 漁師・太公望図 |
| | 三所物 | 無銘 古金工 | 布袋図【保存】 |
| | 鐺1 | 無銘 武州 | 鉄地耳唐草紗綾文金線象嵌【特賞】 |
| | 鐺2 | 無銘 古金工 | 藻貝図【保存】 |
| | 鐺3 | 無銘 中根 | 左右海鼠透【保存】 |
| | 鐺4 | 無銘 加賀後藤 | 波に龍図【特賞】 |
| 鐺5 | 無銘 越前鐺工 | 茗荷・桐紋透 | |
| 鐺6 | 銘 越前住記内作 | 牡丹獅子透 | |
| 鐺7 | 銘 国永 | 諫鼓鶏透 | |
| 鐺8 | 無銘 神吉 | 糸巻に輪透【保存】 | |
| 鐺9 | 無銘 正阿弥 | 唐子仙人図 | |
| 太刀 | 銘 平成元年七月日邦松 | 長76.0cm反2.0目釘孔1 東京257733 | |
| 陣羽織 | | 夏用 鹿角文 | |
| 刀剣山城(渡辺) | 刀掛 | 銘 茂翁 | 秋草に輪図(二段掛) |
| | 鐺1 | 無銘 | 木瓜形松に鷹図 |
| | 鐺2 | 無銘 | 丸形(小) |
| | 鐺3 | 無銘 | 撫角形鬼図 |
| 丸英美術店(瀬下) | 刀掛1 | | |
| | 刀掛2 | | |
| 本郷泰啓堂(青木) | 鐺1 | 無銘 | 鉄地木瓜形獅子牡丹透図 |
| | 鐺2 | 無銘 | 鉄地丸形梅透図 |
| 泰文堂(川島) | 刀掛1 | | |
| 城南堂古美術(田中) | 刀 | 銘 会津住重次作 昭和十九年四月日 | 長67.3cm反1.3目釘孔1 新潟066302 |
| 菅原静夫 | 鐺 | 無銘 | 瓢箪図 |
| 刀剣ギャラリー樹林(森野) | 脇指 | 銘 忠広(二代) 【特賞】 | 長55.8cm反1.4目釘孔1 大阪85529 |
| | 短刀 | 銘 吉光 | 長21.4cm無反目釘孔1 福岡103719 |
| 丸英美術店(瀬下) | 刀掛1 | | |
| 丸英美術店(瀬下) | 刀掛2 | | |
| 本郷泰啓堂(青木) | 鐺1 | 無銘 | 鉄地木瓜形獅子牡丹透図 |
| 本郷泰啓堂(青木) | 鐺2 | 無銘 | 鉄地丸形梅透図 |
| 泰文堂(川島) | 刀掛1 | | |
| 泰文堂(川島) | 刀掛2 | | |
| 泰文堂(川島) | 刀掛3 | | |
| 泰文堂(川島) | 刀掛4 | | |
| 福隆美術工芸(綱取) | 半首 | | |
| 福隆美術工芸(綱取) | 大袖 | | |
| 組合 | 段鐺箱 | | |
| 組合 | 鐺箱 | | |
| 晴雅堂清水(清水) | 縁頭 | 無銘 | 龍図 |
| 晴雅堂清水(清水) | 二所物 | 無銘 | 波図 |
| 古美術もちだ(持田) | 目貫 | 無銘 | 茄子図【保存】 |
| 飯田高遠堂(飯田) | 刀 | 無銘 尾張閑【保存】 | 拵入り |
| 刀剣古美術誠友堂(生野) | 書籍1 | | |
| 刀剣古美術誠友堂(生野) | 書籍2 | 武州下原刀図譜 | 定価各8,000円 |
| 刀剣古美術誠友堂(生野) | 書籍3 | | |
| 服部美術店(服部) | 小柄 | 無銘 | 貝図 |
| 服部美術店(服部) | 二所物 | 無銘 | 馬図 |
| 山城屋(嶋田) | 鐺 | 無銘 赤坂 | |
| 山城屋(嶋田) | 鐺 | 無銘 | 人物図 |
| 和敬堂(土肥) | 刀掛 | | 蒔絵 |
| 刀剣高吉(高島) | 太刀掛1 | | |
| 刀剣高吉(高島) | 太刀掛2 | | |
| 刀剣はたや(旗谷) | 鐺 | 無銘 | 龍図 |
| 美術刀剣松本(松本) | 兜 | | |

刀剣・小道具・甲冑武具

創業明治十三年

目白 飯田高遠堂

代表取締役 飯田慶久

営業時間 午前10時～午後6時
定休日 水曜・土曜(日曜営業中)

〒161-0033 東京都新宿区下落合3-17-33

TEL 03(3951)3312
FAX 03(3951)3615

http://www.iidakoendo.com

野田会 刀剣・刀装具市場 毎月三日・十九日開催

(株)美術刀剣松本

松本富夫

〒二七八一〇〇四三 千葉県野田市清水一九九一

TEL 〇四(七二二)一一二二
FAX 〇四(七二二)一九五〇

美術日本刀・鐺・小道具・甲冑

日本の伝統文化を彩る

JAPAN SWORD CO., LTD.

(株)日本刀剣

伊波賢一 Ken-ichi Inami

〒105-0001 東京都港区虎ノ門3-8-1

TEL 03-3434-4321
FAX 03-3434-4324

銀座 泰文堂

「刀剣画報」
実寸大通信販売カタログ
年6回発行 年間購読料4,000円

〒104-0061 東京都中央区銀座4-3-11
松崎煎餅ビル4階

(株)銀座泰文堂 代表 川島貴敏

TEL 03-3563-2551
FAX 03-3563-2553
フリーダイヤル 0120-402037

http://www.taibundo.com

刀剣 高吉

古名刀から現代刀、御刀のことならお任せください!

連絡先
090-8455-2222

60回までの低金利刀剣クレジットお取り扱い

〒114-0023 東京都北区滝野川7-16-6

電話 03-5394-1118
FAX 03-5394-1116

営業時間11時～19時
月曜日定休(祝日は営業)
代表者 高島吉童

www.premi.co.jp



⑦お客さまで賑わう会場。今年も3,000人を超える入場があった
 ⑧下見用に設けられたチャリティーオークション品展示コーナー
 ⑨「我が家のお宝鑑定」には例年に増して多くの申し込みがあった



特別企画展「江とその時代を生きた名工達」

東京美術倶楽部で開催された「大刀剣市2011」の期間中、三階の重文室においては「江とその時代を生きた名工達」と題し、将軍家・大名家伝来の刀剣や、江の生きた安土桃山時代の刀工・名匠の作を中心に展示させていただきます。

予想以上の来場者数で、本企画も好評を博したことは、展示を見終えて重文室から退場された方々のため息や笑顔からも十分見て取れる上々の結果でありました。

これも、この展示にご協力い

ただました関係各位、先輩の方々のありがたい援助のためものであり、この紙面をお借りして深く感謝申し上げます。

遠方からご来場くださった皆さんのお客さまに少しでも満足していただくために、来年も再来年もますます内容のある展示にできるよう努めてまいります。一層のご支援・ご協力をお願いいたします。

また、この展示にご意見やご希望がございましたら、お聞かせくださいますと幸いです。

(川島貴敏)

夢と希望の「お宝鑑定」

私にとって今回の大刀剣市は「我が家のお宝鑑定」の受付係として、また諸先輩方の鑑定のお手伝いをさせていただける貴重な勉強の場でした。

「お宝鑑定」は大刀剣市開催期間中、初日から最終日まで行っている恒例行事です。当初はお昼過ぎから鑑定を開始する予定でしたが、依頼が多数だったため繰り上げて午前中から開始してようやく対応しました。

受付係としてお客さまに接していると、本当にいろいろな方がお越しになっていると実感できます。全く刀剣類に興味がない方から、刀剣類を長く趣味とされている方まで、その内容は千差万別です。

古くからご自宅に伝わった刀

くに当たってどんなものなのか知っておきたいと依頼される方。亡くなられたご主人が収集されたもので、残しておくべきか悩んでご相談に訪れる方。はたまた、ご自分で収集されたお品の真贋鑑定や評価鑑定を依頼される方……。

申し訳ないことに長時間、順番をお待ちいただいております方も多かったのですが、途中であきらめず、ほぼほすべてのお客さまが鑑定を受けて帰られました。

この「鑑定」に限って言えば、全国刀剣商業協同組合事務所でも随時承っております。しかし、年に一回の「大刀剣市」も「お宝鑑定」も新聞の広告などによって初めて知る方も少なくありません。

私が受付係をさせていただく

特別企画展の展示作品

| | |
|--------------|---------------------------|
| 刀 | 津田越前守助廣 村雨 延宝六年二月日(青山家伝来) |
| 刀 | 丹波守吉道(佐竹家伝来) |
| 刀 | 丹後守兼道(青山家伝来) |
| 刀 | 繁慶 |
| 刀 | 阿波守藤原在吉 慶長二年九月吉日 |
| 短刀 | 洛陽住信濃守藤原国廣造 干茲慶長十二丁未竜集吉辰 |
| 刀 | 備前國住長船孫右衛門尉清光作之 永祿五年八月大吉日 |
| 刀 | 備前國住彦兵衛尉祐定作 永正六年八月吉日 |
| 刀 | 備前國住与三左衛門尉祐定作 天文六年八月吉日 |
| 刀 | 肥前國忠吉 慶長六年八月吉日 |
| 刀 | 日州古屋之住國廣作 天正六年二月吉日 |
| 太刀 | 國宗(大徳川家伝来) |
| 太刀 | 國行(紀州徳川家伝来) |
| 鉄黒漆塗総覆輪阿古陀形兜 | |
| 鉄黒漆塗二十八間総覆輪兜 | |
| 鉄黒漆塗六十二間筋兜 | |
| 野晒に題目文字鐔 | 銘 明珍信家作 |
| 塔山水図鐔 | 銘 信家 |
| 九年母図鐔 | 銘 山城國伏見住金家(黒田家伝来) |
| | 銘 理忠明寿 |

大刀剣市に初出店して

ようになった去年も今年も、そういう方が数多く見受けられました。去年はわざわざ広島県福山市から来られたご一家もいたほどです。

今年は二日目に次のような例がありました。その方は亡くなられたご主人が収集した刀を数振お持ちになったのですが、登録証をお忘れになっていたので、持ち運ぶのに法律上の問題があることをお伝えしました。

すると、埼玉の自宅まで一度お戻りになり、登録証を持参の上引き返してこられました。そこまでしていただくのは大変恐縮でしたが、それだけ楽しみにされていることを実感させられる出来事でした。

これからもお客さまに楽しんでいただける恒例行事として、組合一丸となって取り組んでいきたいものです。

(宮澤琢)

「大刀剣市2011」に初出店して最も強く感じたことは、お客さまの多さです。

今まで地方の刀剣まつりには長年出店してきましたが、やはり出店ブースの数と、首都東京という場所により来場されるお客さまの数が圧倒的に多く、外国のバイヤーの方も多数来場されていきました。

一般のお客さまのやりとりでは、値引き交渉する方が多かったです。蛇足ですが、関西では値引き交渉のとき、お客さまから「兄ちゃん、がんばり強してくれねん」と言われますが、やはり関東では言い方が上品でした。値引き交渉するのは関西人だけかと思いましたが、最近はそのようではないですね。まさしく違ふ意味の

勉強になりました。

それから、お客さまの買い方の違いも面白く、いきなりブースに現れ購入する人、何回もブースに足を運び念入りに品定めをした後に購入される人、ブースの前を何回も通り過ぎた後に意を決し「これ、下さい」と購入する人など、いろいろな人間模様に触れることができ、幸いでした。

次に、外国人のバイヤーの中で印象深かったのは、たぶんフランスの方だと思います。英語をしゃべらず、わざと訳のわからないフランス語でまくし立てた揚げ句に、価格交渉はユーロ。いちいちユーロと円を交換、円をユーロに変換の繰り返しで頭が混乱してしまい、気がついたときには商談が成立し握手をし



女性の姿もここに……。刀剣談義にも花が咲く

初出店は九州の刀にこだわって

念願の大刀剣市初出店は、背伸びをせずかでも豪華な展示をしたと考えていました。九州出身の愛刀家や、付焼刃は無理がくると自らを戒め、結局、福岡の小さな店に並べている刀をそのまま展示することにしました。

声をかけていただくお客さまも、おのずと九州の刀のファンや、九州出身の愛刀家や、付焼刃は無理がくると、力まず、楽しんでお相手をするのができました。

私ども全日本刀匠会・関東支部は本年も、主催の全国刀剣商協同組合より大刀剣市会場四階に銘切り実演コーナーを設けていただきました。そこでは文鎮・キーホルダーなどにお客さまご希望の文字を切り付け、販売を行いました。

そのほか景気の低迷などさまざまな影響を受けた今回の「大刀剣市開催」はありましたが、入場者は昨年に比べ若干多かったです。また、また事故などもなく盛会のうちに会期を終えられましたことは、大変喜ばしく存じます。

私ども全日本刀匠会・関東支部は本年も、主催の全国刀剣商協同組合より大刀剣市会場四階に銘切り実演コーナーを設けていただきました。そこでは文鎮・キーホルダーなどにお客さまご希望の文字を切り付け、販売を行いました。

重文書の特別企画も楽しみでした。これは市場のざわめきから隔離されたミニ博物館でした。名品を集めるご苦労を察しますが、これからも旬のテーマで少しでも刀好きを増やしていきたい。二日目と三日目に出かけることができ、市場の雰囲気や味わいながら目ごろの刀剣談義にお付き合いいただいている刀屋さんにご挨拶し、年に一度にもかかわらず顔を覚えていただけた。地方の刀屋さんに景気を伺い、毎年楽しみにしているS堂の和服美人、T堂の洋装美女にデートを申し込み、例年通りやんわりと断られました。

古刀ならA堂、新刀ならB堂、備前刀なら備前屋さん、山城物なら山城屋さん、大和なら大和屋さん、これもちょっと無理ですね。

ていまして、果たして利益が出たのかどうか？ 今から思えば「笑談」です。まあ、もちろん英語でまくし立てられても同じ結果になったと思えます。これからは最低でも英語をしゃべれなければだめだな、と実感しました。実は大刀剣市の後、スピードラーニングで英語の勉強を始めましたが、全然上達しません。本当に聞くだけで英語がしゃべれるよ

うになったのか、石川遼君に聞いてみたいです。本当にいろいろなことがありましたが、ぜひ来年以後も出店していきます。最後に、会場の設営や運営に携わった組合スタッフの方々、先輩店の方々のご助力・ご指導があり、今回、無事に初出店を終えることができたことに感謝し、心より御礼申し上げます。

平成二十三年は震災・水害などの災害が非常に多い年でありました。被災されました皆さまに心よりお見舞いを申し上げますとともに、いち早い復興を願っております。

そのほか景気の低迷などさまざまな影響を受けた今回の「大刀剣市開催」はありましたが、入場者は昨年に比べ若干多かったです。また、また事故などもなく盛会のうちに会期を終えられましたことは、大変喜ばしく存じます。

三月の大震災に始まり、津波・原発・大雨・台風と大変な出来事が続き、今回は大刀剣市が開催されるか、とても心配でした。関係各位のご尽力により立派な「大刀剣市2011」が開催され、素直に感謝したい気持ちです。

重文書の特別企画も楽しみでした。これは市場のざわめきから隔離されたミニ博物館でした。名品を集めるご苦労を察しますが、これからも旬のテーマで少しでも刀好きを増やしていきたい。二日目と三日目に出かけることができ、市場の雰囲気や味わいながら目ごろの刀剣談義にお付き合いいただいている刀屋さんにご挨拶し、年に一度にもかかわらず顔を覚えていただけた。地方の刀屋さんに景気を伺い、毎年楽しみにしているS堂の和服美人、T堂の洋装美女にデートを申し込み、例年通りやんわりと断られました。

日本刀に魅せられて数十年、宝くじが当たらない限り手にするのでない名刀から、小遣いをやりくりすれば何とか手が届きそうなお刀まで、たっぷりと見せられた二日間でした。大刀剣市の感想を気の向くままに書かせていただきました。関係各位のますますのご発展と、刀剣界の盛況を祈念します。

実演コーナーのご提供に感謝

平成二十三年は震災・水害などの災害が非常に多い年でありました。被災されました皆さまに心よりお見舞いを申し上げますとともに、いち早い復興を願っております。

そのほか景気の低迷などさまざまな影響を受けた今回の「大刀剣市開催」はありましたが、入場者は昨年に比べ若干多かったです。また、また事故などもなく盛会のうちに会期を終えられましたことは、大変喜ばしく存じます。

三月の大震災に始まり、津波・原発・大雨・台風と大変な出来事が続き、今回は大刀剣市が開催されるか、とても心配でした。関係各位のご尽力により立派な「大刀剣市2011」が開催され、素直に感謝したい気持ちです。

重文書の特別企画も楽しみでした。これは市場のざわめきから隔離されたミニ博物館でした。名品を集めるご苦労を察しますが、これからも旬のテーマで少しでも刀好きを増やしていきたい。二日目と三日目に出かけることができ、市場の雰囲気や味わいながら目ごろの刀剣談義にお付き合いいただいている刀屋さんにご挨拶し、年に一度にもかかわらず顔を覚えていただけた。地方の刀屋さんに景気を伺い、毎年楽しみにしているS堂の和服美人、T堂の洋装美女にデートを申し込み、例年通りやんわりと断られました。

日本刀に魅せられて数十年、宝くじが当たらない限り手にするのでない名刀から、小遣いをやりくりすれば何とか手が届きそうなお刀まで、たっぷりと見せられた二日間でした。大刀剣市の感想を気の向くままに書かせていただきました。関係各位のますますのご発展と、刀剣界の盛況を祈念します。

魅せられて、見せられて

刀好きにとって、秋は大刀剣市と重要刀剣審査が楽しみで、九月には根津美術館で名物刀剣展もあり、今年はずいぶん秋になりました。

重文書の特別企画も楽しみでした。これは市場のざわめきから隔離されたミニ博物館でした。名品を集めるご苦労を察しますが、これからも旬のテーマで少しでも刀好きを増やしていきたい。二日目と三日目に出かけることができ、市場の雰囲気や味わいながら目ごろの刀剣談義にお付き合いいただいている刀屋さんにご挨拶し、年に一度にもかかわらず顔を覚えていただけた。地方の刀屋さんに景気を伺い、毎年楽しみにしているS堂の和服美人、T堂の洋装美女にデートを申し込み、例年通りやんわりと断られました。

日本刀に魅せられて数十年、宝くじが当たらない限り手にするのでない名刀から、小遣いをやりくりすれば何とか手が届きそうなお刀まで、たっぷりと見せられた二日間でした。大刀剣市の感想を気の向くままに書かせていただきました。関係各位のますますのご発展と、刀剣界の盛況を祈念します。

平成二十三年は震災・水害などの災害が非常に多い年でありました。被災されました皆さまに心よりお見舞いを申し上げますとともに、いち早い復興を願っております。

そのほか景気の低迷などさまざまな影響を受けた今回の「大刀剣市開催」はありましたが、入場者は昨年に比べ若干多かったです。また、また事故などもなく盛会のうちに会期を終えられましたことは、大変喜ばしく存じます。

三月の大震災に始まり、津波・原発・大雨・台風と大変な出来事が続き、今回は大刀剣市が開催されるか、とても心配でした。関係各位のご尽力により立派な「大刀剣市2011」が開催され、素直に感謝したい気持ちです。

重文書の特別企画も楽しみでした。これは市場のざわめきから隔離されたミニ博物館でした。名品を集めるご苦労を察しますが、これからも旬のテーマで少しでも刀好きを増やしていきたい。二日目と三日目に出かけることができ、市場の雰囲気や味わいながら目ごろの刀剣談義にお付き合いいただいている刀屋さんにご挨拶し、年に一度にもかかわらず顔を覚えていただけた。地方の刀屋さんに景気を伺い、毎年楽しみにしているS堂の和服美人、T堂の洋装美女にデートを申し込み、例年通りやんわりと断られました。

日本刀に魅せられて数十年、宝くじが当たらない限り手にするのでない名刀から、小遣いをやりくりすれば何とか手が届きそうなお刀まで、たっぷりと見せられた二日間でした。大刀剣市の感想を気の向くままに書かせていただきました。関係各位のますますのご発展と、刀剣界の盛況を祈念します。



抽選会で現代刀匠の鍛えた小刀を射止めたお客さま

刀好きにとって、秋は大刀剣市と重要刀剣審査が楽しみで、九月には根津美術館で名物刀剣展もあり、今年はずいぶん秋になりました。

重文書の特別企画も楽しみでした。これは市場のざわめきから隔離されたミニ博物館でした。名品を集めるご苦労を察しますが、これからも旬のテーマで少しでも刀好きを増やしていきたい。二日目と三日目に出かけることができ、市場の雰囲気や味わいながら目ごろの刀剣談義にお付き合いいただいている刀屋さんにご挨拶し、年に一度にもかかわらず顔を覚えていただけた。地方の刀屋さんに景気を伺い、毎年楽しみにしているS堂の和服美人、T堂の洋装美女にデートを申し込み、例年通りやんわりと断られました。

日本刀に魅せられて数十年、宝くじが当たらない限り手にするのでない名刀から、小遣いをやりくりすれば何とか手が届きそうなお刀まで、たっぷりと見せられた二日間でした。大刀剣市の感想を気の向くままに書かせていただきました。関係各位のますますのご発展と、刀剣界の盛況を祈念します。

(愛刀家・鈴木光寿)

若者広場

瀬下昌彦

最近、車離れを代表とする若者の「離れ」現象がテレビ・新聞などのメディアを通して報じられています。「離れ」現象は、刀剣業界も例外ではありません。刀剣界は年々愛好者の人口が減少し、業界の規模も縮小しています。普及活動として、全国各地で日本刀の鑑賞会などが開催されていますが、そこに若者の姿はほとんどないのが現状と言えます。

今後の刀剣業界を考える

日本刀というものが古美術品として扱われていることを知らない、所持するには何か特別な免許が必要、とされている人が大半だと思います。そんな状況で、鑑賞会などを開いても、若者も含め一般の方が来るわけがありません。

日本刀は世界に誇る日本文化とも言えます。日本人がその美しさと侍文化を忘れる一方、外国人がそのことを認識して収集するという皮肉なことが起きています。

愛好家だけを集めて鑑賞会などを開催するだけでは、真の普及活動とは言えないと思います。日本刀は見た目にはわかりづらく、一般の方では理解しがたい専門用語なども多数あります。だからこそ工夫を凝らし、一般の方々に気軽に日本刀を見て、触れて、理解してもらえらる機会や場所をもっと提供していく必要があるのではないのでしょうか。

防犯上いろいろな問題はあると思いますが、一人でも多くの方に間口を広げ、「育成」ということにも少し目を向け、日本刀の魅力を知ってもらうことが、今後の刀剣界の衰退を防ぐ手立ての一つとなるのではないのでしょうか。

先輩方が美術品として刀剣の歴史を築き上げ、何度か刀剣ブームが起こりました。ブームだけで終わらせるのではなく、今後、何世代にもわたって刀剣の魅力伝えていくにはどうしたらよいか、若者や刀剣を知らない一般の方をどうこの業界に取り込んでいくか、真剣に考え、もっと努力していかなければいけない時が来たのではないのでしょうか。

☆筆者の瀬下昌彦さんは昭和五十四年生まれの三十二歳。一男一女の父。剣道三段。駿河台大学卒業後、財団法人日本美術刀剣保存協会に勤務。三年間、日本刀の修業を積んだ。現在は父の明さんとともに丸英美術刀剣店の経営に当たる。将来が大いに期待される青年刀剣商である。

☆この「若者広場」コーナーは、刀剣界の若手の建設的な意見を発表する場として、今後連載してまいります。

年頭随想

あれから九月月が過ぎ、故郷で新年を迎えられた方、新天地での生活を始めた方、東日本大震災で被害に遭われた皆さまに心よりお見舞い申し上げます。本年が皆さまにとって、未来に繋がる年になりますように。

続ければ繋がる

不惑を過ぎましたが、今まで、「新年の抱負」なんて考えたことがない。どうしても書け、というなら「続ける」ということ。

自分が今やりたいことを必死で続けていけば、明日も来年もやっている。そういうものです。

私は刀を造り続けるし、情報の発信も続ける。

全日本刀匠会は「お守り刀」をキーワードに、新作の刀の魅力を発信し続ける。この「お守り刀」から真の魅力ある平成の名刀がきっと生まれてきます。

震災直後から現在に至るまで、それ以前と変わらず、私は自身のブログ「テノウチ、ムネノウチ」を書き続けました。

身の回りでは、ガソリンがなくなり、食料がなくなり、水がなくなりましたが、そんなことを交えつつ、義援金のごこと、そして、刀鍛冶としての日常を発信し続けよう。世間は、もう文化の趣味どころではなくなるかな、とは思いつつながら。そこから新たな繋がりが生まれたし、「継続は力」それは本当ですよ。

ああ、新年の抱負でした。

葉公問政
子曰。近者説。遠者来。
まつりごとの話をしても始まりません。近き者、まあ今年ももっと奥さまのことを大切にしましょうか。

(刀鍛冶・川崎豊平)

訃報

◎賛助会員・宮下武様のご尊父佐藤勲様(財団法人日本美術刀剣保存協会元川崎支部長・幹枝会会長)におかれましては、平成二十三年十一月二十二日逝去されました。享年八十八。ご冥福をお祈り申し上げます。

◎組合員・島田恒様(財団法人日本美術刀剣保存協会元評議員)におかれましては、平成二十三年十一月二十三日逝去されました。享年六十三。ご冥福をお祈り申し上げます。

◎組合員・山本一郎様のご令室山本ツネ様におかれましては、平成二十三年十二月十六日逝去されました。享年六十四。ご冥福をお祈り申し上げます。

◎組合員・山田均様(全国刀剣商業協同組合理事・『刀剣界』編集委員)におかれましては、平成二十三年十二月二十七日逝去されました。享年六十九。ご冥福をお祈り申し上げます。

全刀商の活動紹介(経済委員会 市場運営部会) 交換会は公平・透明・誠実に

全刀商の運営資金は、毎月十七日に行われる交換会と大刀剣市でのもの収入、それに賦課金(組合費)で賄っていますが、中でも交換会の占めるウエートは大きいものです。

この交換会の運営は、経済委員会に属す市場運営部会が担当しています。メンバーは次の通りです。

- 土肥豊久(部会長)・猿田慎男
- 新堀孝道・川島貴敏・城所稔
- 齋藤恒・玉井義輝・網取譲一
- (買高担当) 服部晧治・新堀孝道・朝倉忠史・嶋田伸夫・網取譲一

会の考え方として、なるべく高く売れるように、つまり買い手よりも売り手側を重んじる立場を取っています。品物をたくさん持ってきても買えるように、そして、どなたでも気持ち良く売買してもらえようように、力も目も得意分野も扱う品物も違う人が集まって、いつもそれぞれ個性を十分発揮して商売ができるように、公平・透明・誠実をモットーとしています。

従来の出来高は毎回平均一千五百万円ぐらいでしたが、最近はおかげさまで平均約三千五百万円と飛躍的に増えてまいりました。会員の皆さまと、理事長を筆頭とする役員の方々が力添えをしてくれて、力強くなってまいりました。心より感謝申し上げます。

(土肥豊久)

品物は安価な鏝身から、保存・特別保存の刀剣、そして重宝刀剣、武器類に至るまでできるようなっています。今は高額の小道具が少ないですが、意欲的な買い手はそろっていますので、出れば燃えて売れると思います。

全刀商に資金の力がついてくれば、組合員の皆さまのため、刀剣界全体のため、いろいろな貢献ができます。ぜひ交換会をご利用いただき、ご自身の利と組合・刀剣界の利のために協力願えますと幸いです。

交換会のシステムは、売りは当日小切手支払い、買いは翌月の支払い、五百万円を超えるときは、超えた分の現金支払い、品物をお預かりして入金次第お渡しということになっています。詳しくは事務局にお尋ねください。

今後とも皆さまの絶大なご協力をお願いします。

お知らせとお願い

■本紙購読について
「刀剣界」は隔月で発行しています。購読料は無料です。組合員・賛助会員以外の方で継続購読を希望される方は、組合員でお申し込みをお願いします。なお、お手数ですが、年間送料費として四八〇円をお送りください。

■情報を募集しています
本紙は組合の機関紙であるとともに、紙名のごとく刀剣界を網羅し、斯界に役立つ情報紙であることを願っています。つきましては、広く情報をお寄せくださるようお願いいたします。イベント・レポート、催事情報をはじめ、ご覧になった新聞や雑誌記事、TV番組の

お申し込み・お問い合わせ先

全国刀剣商業協同組合(全刀商)
〒169-0072 東京都新宿区大久保二一八-10 新宿スカイプラザ三三〇二
TEL 03(3205)0601 FAX 03(3205)0089

感想、エピソードなど、何でも結構です。ただし、紙面の関係で編集させていただくことがありますので、ご承知おきください。

■広告募集集中です
広告も読者にとっては有益な情報の一つです。本紙では記事とともに順次、広告欄の充実も期してまいります。料金は、2段5分の1(縦96mm×横48mm)、年間六回で六万円です。ただし、編集委員会の審査によりご希望に沿えない場合もあります。詳しくお知らせになりたい方は組合にお問い合わせください。